

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	さくら医療福祉専門学校
設置者名	学校法人東洋育英会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.skr.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	https://www.skr.ac.jp/
財産目録	https://www.skr.ac.jp/
事業報告書	https://www.skr.ac.jp/
監事による監査報告（書）	https://www.skr.ac.jp/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	救急救命科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単 位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2	昼	106(2026年度生)	69	0	4	0	33
		95(2025年度生)	69	0	4	0	22
年							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70	人	64人	0人	5人	3人	8	人
(備考) (任意記載事項)							

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
 座学と実習の組み合わせや、実務経験のある教員の指導、外部の講師を招き、より実践に近い授業を取り入れている。
 年間の授業計画は、教職員会議等で学生の成績や意見、実習先機関からの意見等の振り返りを行い、検討している。1月～3月に各担当講師が授業計画を作成し、年度当初に公表する。
 年間の基準修業週は30週とし、1週間の修業時限は20時限とする（1時限90分）。
 総単位数の内訳…1年次：60単位、2年次：46単位（2026年度生）
 1年次：56単位、2年次：39単位（2025年度生）

成績評価の基準・方法
（概要） 規定出席率を充足したうえで、定期試験（筆記・実習）の成績を主として、レポート及び臨時試験、授業態度等を総合のうえ、下記のAからDまでの4段階評価において履修科目ごとに認定している。 半期科目については100点満点、通年科目については前期で40点、後期で60点を配分し、学年末に合計100点満点として下記の評価を行う。 定期試験は前期、後期に各1回実施する。 ・評価 A評価 80点以上 合格 B評価 70点以上80点未満 合格 C評価 60点以上70点未満 合格 D評価 60点未満 不合格
修了・進級の認定基準
（概要） 卒業・進級の認定については、卒業・進級判定会議において下記の基準を超えたものに対して認めている。 1. カリキュラムに定める全ての科目の成績評価（60点以上）、並びに出席日数等（3分の2以上の出席）の基準を満たしていること。 2. 卒業認定については1.の条件に加え、卒業基準試験を実施し、基準を満たしていること。
学修支援等
（概要） 担任制、グループ形式での自主勉強法を取り入れている。就職に向けた施設見学、希望者の学会等の参加、面接指導、教室開放（平日20：00まで、土曜日9：00～17：00）等を行っている。また、無料Wi-Fiの提供により、安定的なインターネット環境を整備し学生の利用を可能としている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23 人 （ 100% ）	0 人 （ 0.0% ）	21 人 （ 91.3% ）	2 人 （ 8.7% ）
（主な就職、業界等）			
消防署、病院			
（就職指導内容）			
履歴書記入方法指導、面接指導等			
（主な学修成果（資格・検定等））			
救急救命士（国家資格）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
56	7	12.5
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
学業不振、進路変更、一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
個別面談の実施、保護者面談の実施、家庭訪問の実施、基礎学力強化のための個別サポートの実施		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
医療		専門課程		臨床工学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単 位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
	3		昼	184(2026年度生)	165	0	19	0	0
				184(2025年度生)	165	0	19	0	0
183(2024年度生)		164		0	19	0	0		
年									
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
90人		35人	0人		5人		6人		11人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 座学と実習の組み合わせや、実務経験のある教員の指導、外部の講師を招き、より実践に近い授業を取り入れている。 年間の授業計画は、教職員会議等で学生の成績や意見、実習先機関からの意見等の振り返りを行い、検討している。1月～3月に各担当講師が授業計画を作成し、年度当初に公表する。 年間の基準修業週は30週とし、1週間の修業時限は20時限とする（1時限90分）。 総単位数の内訳…1年次：66単位、2年次：63単位、3年次：55単位（2026年度生） 1年次：66単位、2年次：63単位、3年次：55単位（2025年度生） 1年次：66単位、2年次：63単位、3年次：54単位（2024年度生）
成績評価の基準・方法
（概要） 規定出席率を充足したうえで、定期試験（筆記・実習）の成績を主として、レポート及び臨時試験、授業態度等を総合のうえ、下記のAからDまでの4段階評価において履修科目ごとに認定している。 半期科目については100点満点、通年科目については前期で40点、後期で60点を配分し、学年末に合計100点満点として下記の評価を行う。 定期試験は前期、後期に各1回実施する。 ・評価 A評価 80点以上 合格 B評価 70点以上80点未満 合格 C評価 60点以上70点未満 合格 D評価 60点未満 不合格

卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業・進級の認定については、卒業・進級判定会議において下記の基準を超えたものに対して認めている。 1. カリキュラムに定める全ての科目の成績評価（60点以上）、並びに出席日数等（3分の2以上の出席）の基準を満たしていること。 2. 卒業認定については1.の条件に加え、卒業基準試験を実施し、基準を満たしていること。
学修支援等
(概要) 担任制、グループ形式での自主勉強法を取り入れている。就職に向けた施設見学、希望者の学会等の参加、面接指導、教室開放（平日20：00まで、土曜日9：00～17：00）等を行っている。また、無料Wi-Fiの提供により、安定的なインターネット環境を整備し学生の利用を可能としている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19 人 (100%)	0 人 (0.0%)	19 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)
(主な就職、業界等)			
病院、クリニック			
(就職指導内容)			
履歴書記入方法指導、面接指導等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
臨床工学技士（国家資格）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50 人	11 人	22.0 %
(中途退学の主な理由)		
進路変更、経済的理由、一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
個別面談の実施、保護者面談の実施、家庭訪問の実施、基礎学力強化のための個別サポートの実施		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士			
教育・社会福祉		専門課程		介護福祉科		○					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単 位数		開設している授業の種類							
				講義	演習	実習	実験	実技			
2	昼	108		86	8	14	0	0			
年											
生徒総定員数		生徒実員		うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数	
180	人	174	人	170	人	6	人	2	人	8	人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

座学と実習の組み合わせや、実務経験のある教員の指導、外部の講師を招き、より実践に近い授業を取り入れている。
 年間の授業計画は、教職員会議等で学生の成績や意見、実習先機関からの意見等の振り返りを行い、検討している。1月～3月に各担当講師が授業計画を作成し、年度当初に公表する。
 年間の基準修業週は30週とし、1週間の修業時限は20時限とする（1時限90分）。
 総単位数の内訳…1年次：59単位、2年次：49単位

成績評価の基準・方法

（概要）

規定出席率を充足したうえで、定期試験（筆記・実習）の成績を主として、レポート及び臨時試験、授業態度等を総合のうえ、下記のAからDまでの4段階評価において履修科目ごとに認定している。
 半期科目については100点満点、通年科目については前期で40点、後期で60点を配分し、学年末に合計100点満点として下記の評価を行う。
 定期試験は前期、後期に各1回実施する。

・評価

- | | | |
|-----|------------|-----|
| A評価 | 80点以上 | 合格 |
| B評価 | 70点以上80点未満 | 合格 |
| C評価 | 60点以上70点未満 | 合格 |
| D評価 | 60点未満 | 不合格 |

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業・進級の認定については、卒業・進級判定会議において下記の基準を超えたものに対して認めている。
 1. カリキュラムに定める全ての科目の成績評価（60点以上）、並びに出席日数等（3分の2以上の出席）の基準を満たしていること。
 2. 卒業認定については1.の条件に加え、卒業基準試験を実施し、基準を満たしていること。

学修支援等

（概要）

担任制、グループ形式での自主勉強法を取り入れている。就職に向けた施設見学、面接指導、教室開放（平日20：00まで、土曜日9：00～17：00）等を行っている。また、ノート型パソコンの貸出、無料Wi-Fiの提供により、安定的なインターネット環境を整備し学生の利用を可能としている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
75 人 （ 100% ）	0 人 （ 0.0% ）	75 人 （ 100.0% ）	0 人 （ 0.0% ）
（主な就職、業界等）			
介護施設、居宅サービス関連事業			
（就職指導内容）			
履歴書記入方法指導、面接指導等			
（主な学修成果（資格・検定等））			
介護福祉士（国家資格）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
149 人	0 人	0.0 %
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		
個別面談の実施、保護者面談の実施、家庭訪問の実施、基礎学力強化のための個別サポートの実施		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 （年間）	その他	備考（任意記載事項）
救急救命科	100,000 円	600,000 円	590,000 円	その他（施設設備費、維持費）
臨床工学科	100,000 円	600,000 円	600,000 円	その他（施設設備費、維持費）
介護福祉科	100,000 円	600,000 円	220,000 円	その他（施設設備費、維持費）
修学支援（任意記載事項）				
特待生制度：学費免除30万円、20万円、10万円 公務員一次試験合格者減免制度：学費免除10万円、家族割引制度：学費免除10万円 進級時特待生制度：授業料10万円を返還 【入学金・学費の納入方法】 入学金…入学手続き時に一括納入 学費…一括納入を基本とするが、申請者に対し分納を認める （3分割以上の場合は連帯保証人の設定が必要※、期限は例年2月上旬）※留学生除く				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.skr.ac.jp/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
関連業界等の役員または職員、卒業生、教育に関し知見を有する者等で構成し、学校関係者評価委員会にて学校が行った自己評価の結果報告を受け、意見等をまとめ報告書を作成する。教職員は結果報告後直ちに、継続的に結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に努めていく。その責任者は学校長とする。 評価項目：1. 教育理念・目的・目標 2. 教育課程、教育の実施、学修成果 3. 学生の受入れ学生支援 4. 教育実施組織・教員 5. 教育環境 6. 教育活動の基盤と改善・向上の取組		
第三関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社 常務取締役	2024. 4. 1～2026. 3. 31	理事
県立高等学校 元校長	2024. 4. 1～2026. 3. 31	教育に関し知見を有する者
病院 職員	2024. 4. 1～2026. 3. 31	卒業生（関連業界の職員）
消防本部 職員	2024. 4. 1～2026. 3. 31	卒業生（関連業界の職員）
特別養護老人ホーム 施設長	2024. 4. 1～2026. 3. 31	関連業界の役員
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.skr.ac.jp/		
(備考)		
第三者委員会未実施（実施時期未定）のため、学校関係者評価を公表（上記表は学校関係者評価のもの）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://www.skr.ac.jp/